



京都教育大学 e-Project@kyokyo

映画やアニメからみる 「家族の絆」分析とその教材化

京都教育大学教育学部家庭領域専攻

山口恵未 山内千尋 本間弘美

大学院教科教育専攻家政教育専修

石本与恵

助言教員 杉井潤子教授（家庭経営学研究室）

平成 25 年度京都教育大学

「e-Project@kyokyo」（京教学生科研費）助成
を受けて作成

「e-Project@kyokyo」は、学生の独創的で想像力豊かな研究活動を奨励とすることを目的とした、本学独自の学生支援プログラムである。各プロジェクトで企画書を作成して申請し、審査を通過すると、大学から助成金が出て研究を支援してもらえらる。プロジェクトは報告書の作成と研究発表会を義務付けられている。

私たちはこの支援プログラムに参加させていただき、児童・生徒達がみる最近の映画やアニメを、家族の『絆』がどのように描かれているかを分析することによって、多様な家族を想定した映画作品などを教員が教材として用いやすいよう、リストの作成を目的としたプロジェクトを立ち上げた。

まず、小・中・高校の家庭科教科書内で扱われている映像作品をあげてみた。

○高校 技術・家庭 家庭分野（教育図書）

- ・アニメ「あたしんち」
- ・アニメ「ちびまる子ちゃん」
- ・アニメ「毎日かあさん」
- ・アニメ「ご姉弟物語」

○高校 家庭基礎（開隆堂）

- ・映画「東京物語」
- ・映画「家族ゲーム」
- ・映画「重力ピエロ」

○高校 家庭基礎（東京書籍）

- ・アニメ「クレヨンしんちゃん」
- ・アニメ「ちびまる子ちゃん」
- ・アニメ「サザエさん」

ほとんど、両親のそろった核家族や拡大家族を扱っている現状があった。

また、「映画の中の家族・家庭は、時代により描かれ方が変化している。」と高校家庭基礎（開隆堂）の中で書かれている。家族の形態が多様化している現在、フィクションである作品の中で、家族がどのように描かれているのかを検証する。そして、家庭科の家族の単元の中で、多様な家族を教える際に教材としてどのように使用できるのかを考える。

インターネット等で、プロジェクトの目的に沿う内容の映画を選出した。以下、あらずじに示した通り、各映画の中では、様々な家族のかたちが描かれている。これらの作品は学校教育において家族の多様性や家族との関わりについて考える上で重要な視点を持っていると考える。教材化を提案する上でも必要な資料となり得る。

① 「映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ！オトナ帝国の逆襲」[DVD]

あらすじ：21世紀初頭、昭和の様々なものが再現されたテーマパーク「20世紀博」が開催される。しんのすけの両親達大人はテーマパークを楽しみ、20世紀を懐かしがる。そして、あるテレビ放送を見た大人達は突然人が変わり、子供たちのことを忘れて、20世紀博へと向かい、町から大人がいなくなる。しんのすけ達は家族を取り戻すために20世紀博へと向かう。特に前半はギャグが多めで子供向け、後半は「20世紀からの脱却」、「**家族の絆**」に重点が当てられ、大人向けになっている。

主要登場人物：父・母・長男・長女・ペット(犬)

② 「うさぎドロップ」[DVD]

あらすじ：27歳独身のダイキチは、祖父の葬式に出席するため久しぶりに帰省する。彼はその席で6歳の少女りんを目を留めるが、何と彼女は祖父の隠し子だということで親族一同がパニックに陥ってしまう。ダイキチは施設に入れられそうになっていたりんをふびんに思い、つい自分が彼女を引き取って育てると言ってしまう。こうして一緒に暮らすことになった6歳の少女と男が**家族としての関係を築いていく**。

主要登場人物：男・少女

③ 「HOME 愛しの座敷わらし」[DVD]

あらすじ：東京から岩手の古民家に引越してきた一家が、不思議な座敷わらしと出会うことで、それぞれが自身を見つめなおし、**家族のきずなを再生していく姿を描く**。家でも会社でも居場所がない晃一を中心に、それぞれが悩みや不満を抱えている高橋家の5人は、晃一の転勤で岩手県の築

100年以上の古民家に引越す。ようやく田舎暮らしにも慣れてきたある日、着物を着た不思議な子どもに出会う。

主要登場人物：父・母・長女・長男・祖母

④ 「おばあちゃんの家」[DVD]

あらすじ：母親と2人でソウルに住む7歳の少年サンウは、失業中の母親が新しい仕事を見つけるまでの間、田舎の祖母の家で過ごすことになる。初めて会った祖母は、読み書きができず、口も利けない。サンウは祖母をバカにして、不自由な田舎の生活に不満を爆発させ、わがままのし放題。しかし、祖母は決して叱ったりせず、サンウの願いを一心に叶えようと無条件の愛情を注ぐ。やがてサンウの心も次第に変化してゆく。**祖母と孫の心の交流を描く**。

主要登場人物：祖母・息子・(母)

⑤ 「アナザー・ハッピー・デイ ふぞろいな家族たち」[DVD]

あらすじ：リンは長男の結婚式のため、現在の家族を連れて久しぶりに実家に戻る。**反りの合わない家族に再会するのは憂鬱だったが、おめでたい席でなら“家族”に対するわだかまりを忘れられるのではないかと期待していた**。しかし、リンや元夫ポール、母のドリスら、自分のことばかりを主張する彼らは、お互いへの不満を募らせたまま、やがて結婚式当日を迎える。

主要登場人物：女性、現在の家族、元夫、息子、母、父 等

⑥ 「夏の庭～The Friends～」 [VHS]

あらすじ：小学6年生の少年3人は、人の死に興味を抱き、近所の老人・喜八に目をつけ、彼がどう死ぬのか見張ることに。自分を観察する3人に気づいた喜八は、最初は怒るが、やがて**4人の交流**が始まる。子供たちは喜八から、ある女性と結婚していたが別れたという話などを聞く。3人は喜八の元妻を探し出すことにし、やがてそれらしき人を探し当て老人ホームを訪ねるが、部屋には担任の先生がいた。先生は女性の孫だった。女性は、夫は死んだと答えるだけだったが、先生は、喜八は自分の祖父に違いないと確信、彼を訪ねる。

主要登場人物：男性、元妻、孫

⑦ 「サマー・ウォーズ」 [DVD]

あらすじ：主人公小磯健二は、天才的な数学力を持つ17才の理系少年。高校2年の夏休み、憧れの先輩、夏希に「フィアンセのフリをする」というアルバイトを頼まれる。二人が辿りついた先は、長野にある彼女の田舎。そこにいたのは総勢27人の大家族。夏希の曾祖母・栄は、室町時代から続く戦国一家・陣内家の当主であり、一族を束ねる大黒柱だ。栄の誕生日を祝うために集った、個性豊かな「ご親戚」の面々。栄のためにと強引に頼み込まれ、数日間の滞在をすることになった健二。賑やかな親戚の面々に気圧されながら、必死に「フィアンセ」の大役を果たそうと奮闘するのだった。そしてその夜、彼の携帯に謎の数字が連なったメールが届く。数学が得意な健二はその解読に夢中になるのだが…。翌朝、世界は大きく一変していた。健二を騙る何者かが、世界を混乱に陥れていたのだ。「私たち一家でカタをつけるよ!」**栄の号令のもと、健二と夏希、そして陣内家の面々が、一致団結**して世界の危機に立ち向かう!

主要登場人物：曾祖母、親戚たち、曾孫、曾孫の後輩

⑧ 「そして父になる」 [映画]

あらすじ：学歴、仕事、家庭といった自分の望むものを自分の手で掴み取ってきたエリート会社員・良多。自分は成功者だと思っていた彼のもとに、病院から連絡が入る。それは、良多とみどりとの間の子が取り違えられていたというものだった。6年間愛情を注いできた息子が他人の子だったと知り、愕然とする良多とみどり。取り違えられた先の雄大とゆかりら一家と会うようになる。**血のつながりか、愛情をかけ一緒に過ごしてきた時間か。**良多らの心は揺らぐ……。

主要登場人物：野々宮家（父、母、息子）、齋木家（父、母、息子2人、娘）

検証した作品には、育児をする父親や育児休暇制度、ワーク・ライフ・バランス、シングルマザー（ファザー）、家族のつながりなど、現代の多様化している家族像を反映させた多様な家族が描かれていた。両親がそろっている核家族や大家族を取り上げて一般化した「家族」を教えるのではなく、多様な家族像があっという間、それをふまえて自分の家族のことを振り返り、家族のなかで子どもたちができることを考えていくことができればよいと思う。また、家族に関わる作品紹介は高校家庭科の教科書の中で、コラムとして小さく載っているだけの現状がある。小・中学生を対象に、今回取り上げた作品などを用いて「家族」について考える授業づくりの一助になれば幸いである。

作品名	場面	対象	指導要領該当箇所
①「映画クレヨンしんちゃん 嵐を呼ぶモーレツ！オトナ帝国の逆襲」[DVD]	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒロシが自分の成長を回顧するシーン ・大人が子どもにかえってしまい、育児放棄して遊んでいるシーン ・家族のいる幸せ、日常の何気ない幸せに気付くシーン ・しんちゃんが「大人になりたい」というシーン ・核家族 	小	A(1)ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。 (2)ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。
		中	A(1)ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。 (2)イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。 (3)ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。
		高(基礎)	(1)ア 青年期の自立と家族・家庭 イ 子どもの発達と保育 (2)カ 生涯の生活設計
		高(総合)	(1)イ 家族・家庭と社会 (2)ア 子どもの発達と保育・福祉 (5)イ ライフスタイルと生活設計
②「うさぎドロップ」[DVD]	<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らしから小さい子と住むことになった主人公の生活の激 ・殺風景な部屋から子ども用品やおもちゃの増えた部屋へ ・子どもの世話で四苦八苦する主人公の様子 ・企業の育児支援制度が不十分 ・主人公が残業の少ない部署を希望して異動(ライフスタイルの選択、ワーク・ライフ・バランス) ・シングルマザーとの交流 ・イクメン 	中	A(1)ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。 (3)ア 幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解すること。 エ 家族又は幼児の生活に関心を持ち、課題をもって家族関係又は幼児の生活について工夫し、計画を立てて実践できること。
		高(基礎)	(1)イ 子どもの発達と保育 エ 共生社会と福祉 (2)カ 生涯の生活設計
		高(総合)	(1)イ 家族・家庭と社会 (2)ア 子どもの発達と保育・福祉 (5)イ ライフスタイルと生活設計
③「HOME 愛しの座敷わらし」[DVD]	<ul style="list-style-type: none"> ・すれ違い、バラバラだった家族が自分自身をみつめなおし、家族の関わり方を考えていく(家族の絆の再生) ・地域の人々との交流 ・認知症の始まったおばあちゃんと家族の対応 ・古民家の様子 ・「家族でいられる時間は意外と短い」 	中	A(1)ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えること。 (2)ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。 C(2)ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること。
		高(基礎)	(1)ア 青年期の自立と家族・家庭 ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉 (2)ウ 住居と住環境
		高(総合)	(1)ア 人の一生と青年期の自立 イ 家族・家庭と社会 (2)イ 高齢者の生活と福祉 ウ 共生社会における家庭や地域 (4)ウ 住生活の科学と文化
④「おばあちゃんの家」[DVD]	<ul style="list-style-type: none"> ・冒頭のお母さんの行動や態度 ・シングルマザー ・おばあちゃんが世話をやいてくれる様子 ・おばあちゃんとの暮らしぶり ・地域の人々との交流 ・高齢者イメージ 	中	A(2)ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。
		高(基礎)	(1)ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉
		高(総合)	(1)ア 人の一生と青年期の自立 (2)イ 高齢者の生活と福祉 ウ 共生社会における家庭や地域

⑤「アナザー・ハッピー・デイ ふぞろいな家族たち」[DVD]	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに悩みや問題を抱えている登場人物たち ・多様な家族形態を学ぶきっかけになる <p>(主人公は離婚し、再婚している。前夫との子どもの結婚式に参加。前夫も再婚しており、それぞれ子どももいる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の祖父と、その介護をする祖母(老老介護) ・家族って何?(親戚?血の繋がり?同居かどうか?) ・自己主張の激しい人々→家族との関係、コミュニケーション 	中	A(2)ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。
		高(基礎)	(1)ア 青年期の自立と家族・家庭 ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉
		高(総合)	(1)ア 人の一生と青年期の自立 イ 家族・家庭と社会 (2)イ 高齢者の生活と福祉 ウ 共生社会における家庭や地域
⑥「夏の庭～The Friends～」	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の暮らし ・一人暮らしのおじいさんと少年たちの交流 <p>(血の繋がりはないが、おじいさんと少年たちの、友達のような、家族のような関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おじいさんの家を、住みやすく快適な環境にする少年たち 	小	A(3)イ 近隣の人々とかかわりを考え、自分の家庭生活を工夫すること。
		中	A(2)ア 家庭や家族の基本的な機能と、家庭生活と地域とのかかわりについて理解すること。 イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。 C(2)ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること。
		高(基礎)	(1)ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉 (2)ウ 住居と住環境
		高(総合)	(2)イ 高齢者の生活と福祉 ウ 共生社会における家庭や地域 (4)ウ 住生活の科学と文化
⑦「サマー・ウォーズ」[DVD]	<ul style="list-style-type: none"> ・一族を引っ張る曾祖母とその一族のつながり ・新しい高齢者イメージ ・人とのつながりを大切にする曾祖母 ・絆を取り戻す場面も ・情報化社会 	中	A(2)イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること。 D(1)ア 自分の家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。 イ 販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。
		高(基礎)	(1)ウ 高齢期の生活 エ 共生社会と福祉 (2)エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画 カ 生涯の生活設計
		高(総合)	(1)イ 家族・家庭と社会 (2)イ 高齢者の生活と福祉 ウ 共生社会における家庭や地域 (3)イ 消費行動と意思決定 ウ 消費者の権利と責任
⑧「そして父になる」[映画]	<ul style="list-style-type: none"> ・家族とは、血のつながりか、愛情をかけ一緒に過ごしてきた時間か ・2つの家庭の子育て観の違い ・子どもにとっての幸せとは何か ・親たちのライフスタイルの違い 	高(基礎)	(1)ア 青年期の自立と家族・家庭 イ 子どもの発達と保育
		高(総合)	(1)イ 家族・家庭と社会 (2)ア 子どもの発達と保育・福祉